



### 「ボツワナ共和国独立50周年記念国際理解教室」 「ボツワナをもっと知ろう」

道の植え込みで、淡いピンク色の昼顔を見かけるようになりました。

さて、5月23日（月曜日）ボツワナ共和国独立及び日本とボツワナ共和国との外交関係50周年記念イベントの一環として、都筑公会堂にてボツワナ共和国による国際理解教室が開かれ、本校3～5年生が参加しました。

#### 5月23日のプログラム

開会の挨拶

○平成27年度文集「よこはま」掲載作文の朗読  
（平成28年2月の学校だよりでご紹介しました。）

○都筑区長の挨拶

○ボツワナ共和国 大使の話

○ボツワナ共和国大使館員によるボツワナの紹介  
（ボツワナ語も教えていただきました。）

○お礼の言葉 3・4年生児童代表 5年生児童代表  
閉会の挨拶



ボツワナ共和国で発見された世界で2番目に大きなダイヤモンド

今年度も3年生の児童は、「都筑・ボツワナ交流児童画展」に参加します。4～5年生の児童は、ボツワナ共和国の皆さんとの国際交流を通して感じたことや考えたことを内容とする「作文コンクール」に参加します。

23日当日、4年生の代表児童は「牛の数がボツワナの人口の2倍の数と聞いてびっくりしました。」と話していました。3年生代表の児童は、「これから絵を描いてボツワナに送ります。今から何を描こうかドキドキしています。楽しみに待っていてください。」と話していました。そして、5年生の代表児童は「4年生の時に、3年生が交流しているのを見て『またやりたいなあ〜』という気持ちでいっぱいでした。5年生でもう一度やると聞いたときは、うれしくて心がうきうきしました。」と話していました。立派な態度で心からの言葉を堂々と話している姿をまぶしく感じました。

都筑区役所、つづき MY プラザ、そして、後援・協力・協賛くださいました在京ボツワナ共和国大使館、在ボツワナ日本国大使館、JICA、日本通運株式会社航空事業支店の皆様のお世話になり、平成26年度・27年度の2年間、本校の3年生は都筑区アフリカ交流事業「都筑・ボツワナ交流児童画展」に参加しています。茅ヶ崎小学校の3年生が描いた絵は約13,600km離れているボツワナ共和国のベン・テマ小学校で展示されました。その絵を見たベン・テマ小学校の子どもたちが絵を描き、再び13,600kmの距離を移動し、両校の子どもたちの絵が MY プラザや都筑区役所の 1F 区民ホール等を巡回しました。

ボツワナ共和国との交流を通して、遠く離れているボツワナの生活や思いを知り、文化や習慣の違いを認め合ったり、共通点を発見し合ったりする活動を通して、互いに尊重し合う態度を育てていきたいと考えています。